

じもと

HOLDINGS

 きらやか銀行  仙台銀行

2013年9月期
ディスクロージャー誌

情報誌編

≡ The Latest News



ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成24年10月に株式会社きらやか銀行と株式会社仙台銀行の共同持株会社として誕生し、おかげさまで1周年を迎えることが出来ました。

この1年間は、「互いを知る、互いを統一する、そして創造する」をテーマに掲げ、グループ経営計画をスタートし、両行の本部組織や会議体を統一、さらには合同支店長会議で相互理解を深めるなど、じもとグループとしての一体性と結束力を高めてまいりました。

特にグループ共通の営業戦略である「本業支援」については、両行が、人材育成や組織づくり、お客さまへの訪問活動を活発に行い、ビジネスマッチングや協調融資等を通じてお客さまの事業成長を支援してまいりました。

本誌では平成25年9月期のグループ業績とともに、この「本業支援」の取り組み事例もご紹介しておりますので是非ご覧ください。

皆様方におかれましては、今後ともじもとグループにご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年1月

株式会社じもとホールディングス 取締役会長 鈴木 隆
取締役社長 粟野 学

じもとホールディングス

- 本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 設立年月日 平成24年10月1日
- 資本金 170億円
- 上場取引所 東京証券取引所



きらやか銀行

- 本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
- 電話番号 023-631-0001(代表)
- 設立年月日 平成19年5月7日
- 資本金 227億円
- 預金・譲渡性預金 13,050億円
- 貸出金 9,226億円
- 従業員数 972名
- 店舗数 117カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は80カ店(うち出張所3カ店)(県内63カ店、県外17カ店)、インターネット支店を除く。
- ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>



仙台銀行

- 本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- 電話番号 022-225-8241(代表)
- 設立年月日 昭和26年5月25日
- 資本金 224億85百万円
- 預金・譲渡性預金 10,022億円
- 貸出金 5,545億円
- 従業員数 728名
- 店舗数 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による実質店舗数は60カ店(うち出張所4カ店)。
- ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



(平成25年9月30日現在)

Contents

ごあいさつ・会社概要	巻頭
じもとグループの経営計画	02
じもとグループが取り組む「本業支援」	03
じもとホールディングス設立1周年 ～設立からの主な取り組み～	04
地域の皆様とともに	
きらやか銀行の本業支援	06
仙台銀行の本業支援	08
トピックス	10
業績ハイライト	
じもとホールディングス	11
きらやか銀行	12
仙台銀行	14
じもと・じまん特集 第3弾	16



本ディスクロージャー誌・表紙では、じもとグループの様々な“かお”をお届けしております。

また、中心(ロゴマーク内)の写真は、宮城と山形の県境に位置する蔵王連峰であり、季節により多彩な表情を見せます。

私たちじもとホールディングスは、蔵王連峰のように、宮城と山形をつなぐ架け橋となり、皆様とともに進化・発展してまいります。

TOP MESSAGE



わたしたちは宣言します。

じもとを **本業** 気で思い、
様々な事 **業** の成長を
心を込め **支** えること。
力強く **援** すること。

お客様の夢の実現のために。



「『企業』は『喜業』でなければいけない。」

ある人から教えて頂いたこの言葉は、「お客さまから喜んでいただく」業務を行わなければならないということの意味しているものです。

「喜業」を行うことによって、経済合理性のみで行うお取引ではなく、人と人との結びつきによるお取引、人間としての信頼関係を重視するお取引に移っていかねばと強く思っております。

じもとホールディングスは、お客さまと銀行、1社1社との深い繋がりを目指していく中で、徹底した本業支援を行ってまいります。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取
栗野 学

じもとホールディングスが誕生して1年。私たちは、「本業支援」をグループの統一戦略に掲げ、お客さまの話を聴き、様々な経営課題やニーズを共有しながら共に考え、解決にあたるべく、グループ役職員が一丸となって取り組んでおります。

これまで被災地や被災企業の復興に向けて、両行による協調融資や販路拡大の支援、ビジネスマッチング等を実践し、この1年間で着実に統合成果が表れてきております。

じもとグループは、今後も「本業支援」を通じて、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぐ活動をさらに力強く推進するとともに、震災復興と地域経済の活性化に貢献してまいります。

株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取
鈴木 隆



じもとホールディングスでは、当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、IR（インベスターリレーションズ）を定期的に開催しております。

平成25年9月期IR（平成25年12月開催）のハイライト映像をホームページでご覧いただけます。

<http://www.jimoto-hd.co.jp/disclosure/ir.html>

IR開催日程はホームページ（じもとホールディングス・きらやか銀行・仙台銀行）でご案内致します。ぜひお越しください。

じもとグループの経営計画

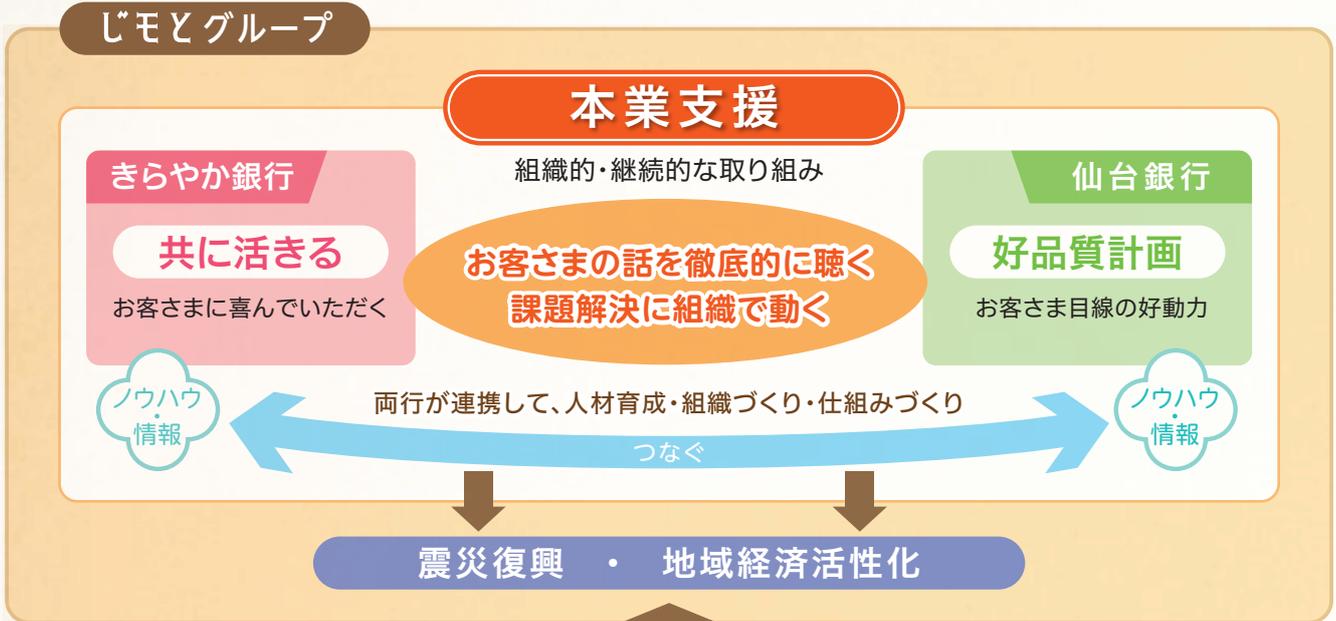
じもとグループの中長期的な戦略展開

中小企業の皆様のためにできること = 【本業支援】を両行で展開

じもとグループは、人材育成や組織づくりを計画的に進め、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、中小企業のお客さまへの「本業支援」を中長期的に展開してまいります。

お客さまの経営課題を徹底的にお聴きし、グループをあげて課題解決に向けて取り組み、復興支援やビジネスマッチング等を通じ、地域経済の復興と発展に貢献する方針です。

じもとグループ



じもとグループのじもとを元気にする4つの戦略

じもと復興戦略

1

被災地の金融グループとして両行の力を結集し、大震災からの復興応援に全力で取り組みます。

- 資金供給機能の強化
- 復興応援イベントの開催
- 外部機関との連携強化
- 生活再建サポートの強化
- 事業再建サポートの強化

じもと経済活性化戦略

2

両行の情報をつなぐことで、商流の形成に取り組んでまいります。また、両行のノウハウを融合・活用することで、産業再生と活性化に貢献してまいります。

- 商流形成
- ビジネスマッチング
- お客さまへの有益情報の提供
- 産業再生・活性化に貢献

商品・サービス向上戦略

3

じもとに対する想いを形にし、お客さまに喜ばれる特色ある共同商品の開発やサービスの向上を図ってまいります。

- 商品の充実
- ネット、チャネルの強化
- イベント、セミナーの充実
- 各種手数料の優遇

経営資源の効率的配分戦略

4

本部機能の集約や事務機能の共同化等により、徹底した経営効率化に取り組み、創出した経営資源を効果的に配分することで、永続的にじもとを元気にする力を発揮してまいります。

- じもとを元気にする力の発揮
- 震災復興応援
- 成長地域への人員投入
- 成長分野への積極的投資
- お客さまとのコミュニケーションの深化

じもとグループが取り組む“本業支援”

voice

お客さまの想いを共に語り合い、形にしたい

「お客さまとの会話が楽しい」、これが本業支援の原点であり、始まりです。

お話を聴き共に語り合い、想い、悩みを同じ目線で一緒になり真剣に考える。その後、お客さまの課題や問題点を、じもとグループと一緒に考え、問題解決のためにお手伝いしております。

私たちはこれからも
お客さまと共に成長し
続けます。

きらやか銀行
寒河江支店
課長 寒河江 慎一



voice

お客さまの声を聴く、それが「本業支援」

私の担当は、津波被災地の多賀城市や塩釜市。被災したお客さまを毎日訪問し、お客さまの復興をサポートすることが私の仕事です。

心掛けていることは、お客さまに何度も足を運び、お話をしっかり聴き、不安や課題を理解し、微力ながらその解決を一生懸命お手伝いすることです。これこそが私にできる「本業支援」。日々頑張っています。

仙台銀行
地元企業応援部推進室
室長代理 廣瀬 あゆみ



voice

お客さまのために私にできること

「何か人の役に立てる仕事がしたい」、これは私が銀行員になろうと思った一番の理由です。この気持ちを一番反映させられるのが、当行の「本業支援」です。

今後も本業支援を通してお客さまの視点に立ち、経営課題の解決に向けて行動すると共に、本業支援を通じた復興支援にも尽力してまいります。

きらやか銀行
弓の町支店
主任 工藤 俊幸



voice

新たな地域産業の成長を全力で支援

岩沼市は、震災津波で壊滅的な被害を受けました。私は、中小企業のお客さまの復興への思いに応えるため、常に「本気」と「情熱」を持って本業支援に取り組んでいます。

特に農業経営アドバイザー資格を活かした第1次産業支援や太陽光発電等の再生可能エネルギー分野への支援を通じ、震災後の新たな地域産業の成長を全力で支えています。

仙台銀行
岩沼支店
主任 武田 信
(農業経営アドバイザー)



じもとホールディングス 設立1周年 設立からの主な取り組み

じもとを愛し、じもとに根ざした、じまんしたくなる、じもとの未来のために

平成24年10月1日

「じもとホールディングス」が誕生！

平成24年10月、株式会社きらやか銀行と株式会社仙台銀行は、共同持株会社の株式会社じもとホールディングスを設立し、経営統合いたしました。「じもとグループ」は宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぐ新たな金融グループとして、中小企業の皆様、そして地域経済の復興と発展に積極的に貢献することを経営方針としております。



平成25年3月12日

クレジットカード・キャンペーンの 収益金の一部を 宮城県の復興へ寄付

じもとグループは、ユーシーカード(株)と共同で「地元復興応援キャンペーン」を開催。本キャンペーンの収益金の一部を被災地復興に活用していただくため、宮城県へ寄付しました。



合同企画
第1弾

平成24年10月1日～12月28日

「じもと・じまん」 キャンペーンを実施

じもとホールディングス設立を記念して、キャンペーン期間中に対象商品をご契約されたお客さま全員に宮城・山形の特産品をプレゼントいたしました。



5月

4月

3月

2月

平成25年
1月

12月

11月

平成24年
10月
誕生

平成25年4月

じもとホールディングスの 経営方針を「本業支援」に統一

平成24年12月10日～平成25年1月23日

じもとホールディングス初の IR(会社説明会)開催

じもとホールディングスでは、株主・投資家の皆様やお取引先のお客さま、そして地域の皆様に当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、じもとホールディングス初のIR(インベスター・リレーションズ)を宮城・山形・東京の13カ所で開催いたしました。



平成24年10月13日

両行合同支店長会議を山形市で開催

「じもとグループ」の経営戦略について、両行の行員が共通認識を持てるように、合同での支店長会議を開催しております。平成24年10月13日に山形市で第1回目を開催後、グループ間における連携を更に強化するべく、この1年間で4回開催しております。



平成25年6月25日

じもとホールディングス新体制 会長に仙台銀行新頭取鈴木隆が就任

平成25年6月25日開催の定時株主総会及び取締役会において、じもとホールディングス新役員体制がスタートしました。



平成25年11月8日

「食の商談会in山形」を開催

両行の食関連の取引先と宮城県内の大手企業のバイヤー5社との個別商談会を山形市で開催。売り手として仙台銀行取引先5社ときらやか銀行取引先22社が参加し、積極的な個別商談が行われました。



6月

7月

8月

9月

10月
1周年

11月

12月

設立1周年記念

平成25年10月1日

両行女性行員の制服のデザインを統一

両行のコーポレートカラーであるレッドとグリーンをブラウスとスカーフに使用し、温かみと落ち着きのあるデザインに新調しました。



平成25年7月1日

両行コールセンターの 相互利用を開始

合同企画
第2弾

平成25年6月10日～8月16日

「東北の夏、じもとの夏」 キャンペーンを実施



キャンペーン期間中に対象商品をご契約されたお客さまの中から抽選で、宮城・山形の味を取り揃えた「朝ごはんセット」や「スイーツセット」をプレゼント。また、先着でじもとホールディングスオリジナルグラスをプレゼントしました。

合同企画
第3弾

平成25年10月1日～平成26年3月31日

「じもとのありがとう」キャンペーンを実施

設立1周年の感謝の気持ちを込めて、キャンペーン期間中に対象商品をご契約されたお客さまへ、宮城・山形の特産品やオリジナルグッズをプレゼントしております。



平成25年10月27日

「みやぎ復興感謝祭海の市in山形」を開催

東日本大震災の復興支援のため、山形市で仙台銀行取引先の水産加工業5社が参加し水産加工品を販売。震災を乗り越えた宮城の「海の幸」の魅力を山形市民にアピールしました。



じもとホールディングスのグループ戦略「本業支援」の取り組み実績

じもとホールディングスは、グループ全体でお客さまへの「**本業支援**」に取り組み、宮城と山形の情報を「つなぐ」ことで、震災復興支援及び地域経済活性化に取り組んでおります。

平成25年9月末現在の両行間の協調融資・紹介融資の実績は、津波被災地の建設業者への寄宿舎建設資金を支援するなど20件・63億円となっております。また、ビジネスマッチング実績は、被災地の復興工事業者へ山形県の協力業者を紹介するなど、成約件数は21件(マッチング情報登録件数は167件)となっております。

協調融資・紹介融資の実績 (単位:件、百万円)

		平成24年10月 ～平成25年3月	平成25年4月 ～平成25年9月
協調融資	件数	3	9
	金額	2,055	3,677
紹介融資	件数	2	6
	金額	80	517
合計	件数	5	15
	金額	2,135	4,194

ビジネスマッチングの実績

ビジネスマッチング成約件数	
平成24年10月～平成25年3月	14件
平成25年4月～平成25年9月	7件
合計	21件

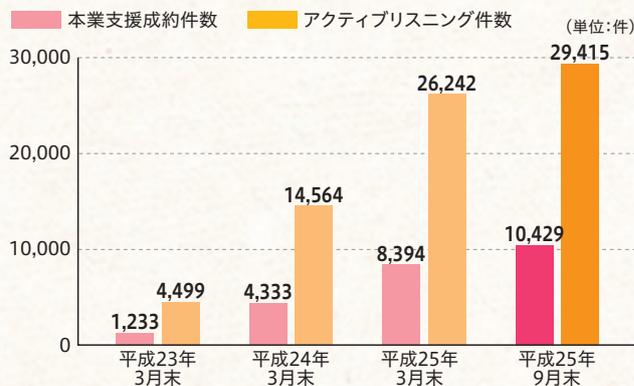
※マッチング登録データ件数 167件

平成25年9月末現在

地域の皆様とともに

きらやか銀行の本業支援

● 本業支援成約件数・アクティブリスニング件数累計



当行では、「本業支援」の本質は、経営者の方から、アクティブリスニング（企業の問題点・課題・悩みをお聴きし共有する活動）を通してお聴きした事業ニーズと一緒に考え解決することで、お客さまに喜んでいただくことにあると考えております。このアクティブリスニングによる本業支援は、じもとグループとして当行及び仙台銀行が長期的戦略として、全行員が組織的かつ継続的に取り組んでおります。

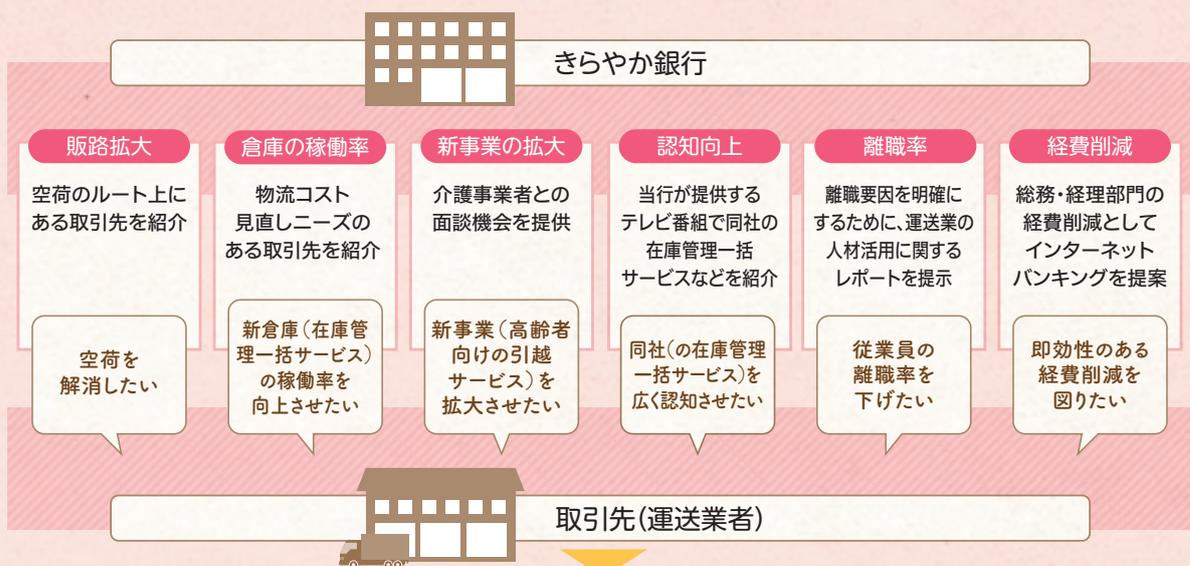
取り組み事例 ①

運送業者への本業支援

◎アクティブリスニングによる運送業者の事業ニーズ(経営課題)の把握



◎本部と連携しながら組織的に本業支援を実践



地域社会へ付加価値の高いサービスを提供!

取り組み事例②

想いと共に、生きていく。

当行の営業基盤である山形県内の高齢化率は、全国的にも非常に高いのが現状です。このような環境の下、私の担当するエリアには、高まる介護需要と地域の未来に正面から向き合う人達があります。

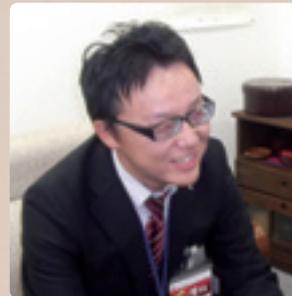
「この地域に200人の雇用を生み出したことが自分の誇り」と会話の中で担当する介護施設の代表者が私に語った時、「介護を通じて地域の未来を守りたい。お客さまの強い想いと共に生きていきたい。」と私は心から思いました。そして、この企業に対し、「私は何が出来るのだろう。」と真剣に考えました。ここから私たちきらやか銀行の本業支援が始まります。

お客さまの想いを聴かせてください。夢を語ってください。そして、実現するお手伝いを一緒にさせてください。

私はこれからも地域の夢を受け、共に追いかける銀行員を目指してまいります。



平成25年10月 卸町ふれあい市
きらやか横丁でお客さまと共に



プロフィール

きらやか銀行 長井支店
主任 黒澤 豊和
法人兼個人渉外担当
(医療経営士・FP1級)

趣味はサイクリング。特技は剣道(3段)。培った意思の強さと行動力は仕事の源です。



長井市内に複数の介護施設を展開する長井弘徳会(介護福祉事業者)様は、今後の超高齢社会を見据えて、介護サービスのさらなる強化を図るための設備投資を計画。物件購入等に関する事業計画の実現を支援しました。

喜びの声



社会福祉法人 長井弘徳会
太田 慎一 理事長
(介護福祉事業者)

弊法人は高齢者介護を中心とした事業を行っており、従来型企业と異なり、単なる売上高や利益率で企業評価をすることができない会社です。高齢者介護予防事業をはじめ、在宅サービスや施設系サービスなど地域と密着した「トータルサービス」を形成し、地元企業と連携しながら人材確保を行っております。

その中で、きらやか銀行は適宜なるサポートをしていただき、また、担当である黒澤さんは、弊法人のサービスの流れや医療介護分野における理解度が高く、適切なアドバイスや資金提供を行っていただきました。

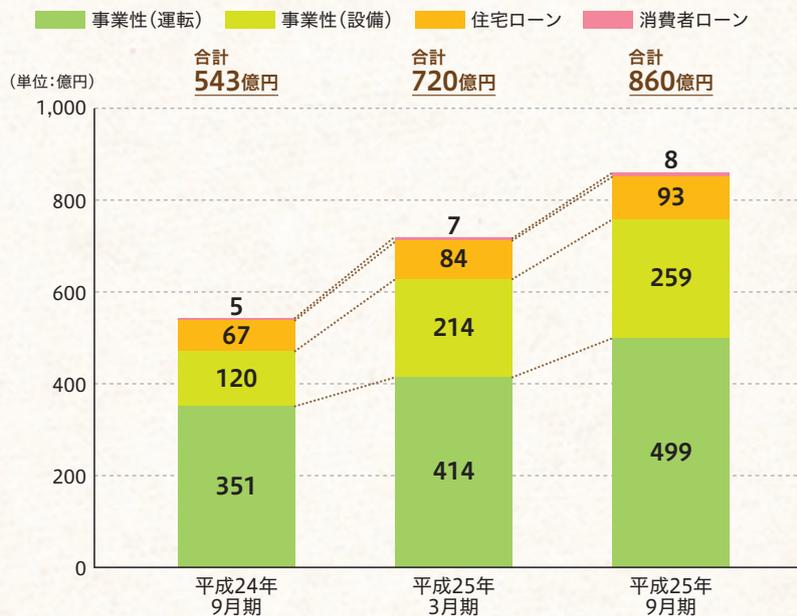
今後も社会の発展と共に知恵を提供していただき、お互いが仕事のやりがいを見出すことで共に発展すると確信しております。



地域の皆様とともに

仙台銀行の本業支援

●被災者向け新規融資実行額累計



当行は、東日本大震災の発生直後から、被災されたお取引先の早期復興に向けて、様々な資金需要に積極的に取り組んでいます。平成25年9月末までの被災者向け新規融資実行額は、3,403件860億円となりました。

また、中小企業診断士や不動産鑑定士、農業経営アドバイザー等が、多様な復興ニーズを踏まえ、きらやか銀行とも連携し、協調融資やDDS（既存債務の劣後ローン転換）等の資金支援、二重ローンご相談、アグリビジネス支援等に取り組んでおります。

取り組み事例①

売電債権を担保にメガソーラー設備導入を支援

宮城県では、エネルギー供給環境の変化に伴い、再生可能エネルギーへの関心が高まっております。

こうした中、株式会社RSテクノロジーズ・三本木工場（宮城県大崎市）では、再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用したメガソーラー設備導入と太陽光発電事業への参入を検討しておりました。

当行古川支店と地元企業応援部は、同工場の屋根設置型メガソーラー導入計画の相談を受け、宮城県信用保証協会と連携し、売電債権を担保にする手法で設備資金をご融資しました。

当社では、今回の太陽光発電事業への参入により、省エネルギー化を実現するとともに、震災後の新たなエコビジネスに取り組むことが可能となりました。



【本計画の事業概要】

設置場所：宮城県大崎市三本木
（当社三本木工場の屋根）

発電出力：1,018.71Kw

※宮城県内屋根設置型メガソーラーとして最大級の発電量

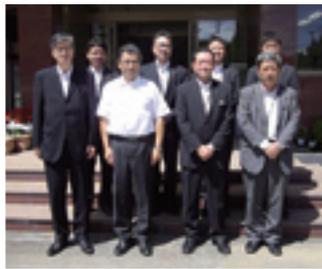
取り組み事例②

本業支援を通じて被災地金融機関として早期復興に取り組む

私が本業支援に取り組むうえで心がけていることは、常にお客さまの立場に立ち、コミュニケーションを図りながら丁寧にお客さまの声を聴くことです。

きらやか銀行と経営統合したことで、互いの情報を共有し、協調融資やビジネスマッチングなども視野に入れた、より質の高い提案をすることが可能になりました。

仙台銀行だからできること。仙台銀行だから分かる想い。私は、被災地の復旧・復興が本格化している今だからこそ、より多くの声を聴き、人（お客さま）＝企業とのつながりを大切に、日々、本業支援に取り組んでまいります。



作業員用寄宿舎を建築
(平成25年8月に完成)

震災被災地・南三陸町歌津地区に本社を置く株式会社阿部伊組（総合建設業者）様は、復興工事に従事する作業員の宿泊先（寄宿舎）の建設を計画。被災地では、作業員の宿舎の確保が、復旧作業を進めるうえでの重要な課題となっていたことから、仙台銀行ときらやか銀行は建設資金を協調融資で支援しました。



プロフィール

仙台銀行 志津川支店兼歌津支店
主任 櫻井 裕行
法人・個人渉外担当

町のおすすめスポット「田束山」
南三陸町歌津地区西部に位置する田束山。5月になると、約5万本のツツジが咲きほこり、一面が朱色に染まります。



喜びの声



株式会社阿部伊組
阿部 隆 代表取締役
(総合建設業者)

震災復興に向けた受注工事の増加に伴い、地区外・県外の下請業者との連携の強化及び作業員の増員確保が必要と考え、当初は地元建設業者で建設組合を設立し、保証事業制度を活用した作業員用寄宿舎の建設を考案していました。しかし、建設組合としての制度活用に弊害が生じたことから弊社単独による建設を計画しました。

仙台銀行は、震災後、宮城の震災復興のために復興支援専門部署「地元企業応援部」を新設し、その担当者から様々な情報やアドバイスを受けていたこともあり、早速、仙台銀行歌津支店に資金調達の相談をしました。また、きらやか銀行と経営統合したことで、営業基盤や資金供給機能が強化され、地元金融機関に協力していただいたことを心から感謝しております。

きらやか銀行

子会社を活用した 組織的な事業再生支援の実施

当行では、子会社である※KTPと一体となった事業再生支援に積極的に取り組んでおります。支援企業の早期の抜本的な再生を目指すことは「究極の本業支援」であると考え、「地域経済の安定」「雇用の維持」を確保しながらも、「企業価値の維持」を実現するべく、多様な再生支援スキームを検討し、実施しております。

本取り組みは、地域密着型金融の先進的なモデルとして、平成25年3月に東北財務局より顕彰されました。



※KTP：きらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社

仙台銀行

じもとの復興支援に向けて 被災店舗を新築オープン

苦竹支店（仙台市宮城野区）は、震災により大きな被害を受けたことから、平成25年11月に同一敷地内に新築し、窓口営業を開始いたしました。平成26年2月には駐車場が完成し、グランドオープンする予定です。

同じく被災した志津川支店、歌津支店（宮城県南三陸町）は、一時町外に移転のうえ営業を継続しておりましたが、平成26年1月に南三陸町内に新店舗を新築。2店舗を移転・同居のうえ、窓口営業を再開いたしました。



新築オープンした志津川支店、歌津支店

お客さまに真心の対応を 「きらやかさんプロジェクト」スタート！

当行では、個人のお客さまへのサービス向上を目指すため、女性だけのプロジェクトチームを立ち上げ、「きらやかさんプロジェクト」をスタートしました。きらやかさんプロジェクトでは、女性ならではの感覚を活かした取り組みを考案し、“お客さまから喜んでいただき、きらやか銀行を選んでいただくこと”を最終目的に、お客さまの笑顔に出会える窓口づくりを行ってまいります。



きらやかさんプロジェクト会議

被災地の復興活動を支援 公益信託「まちづくり基金」

当行は、公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を通じて、東日本大震災からの地域復興や、まちづくり活動に取り組む団体等へ助成金を交付し、活動を支援しております。

平成25年度は、被災地復興に取り組む団体等を含む7先に対して、総額100万円を助成いたしました。

今後も当行は、被災地の地域活性化のため、じもと宮城の復興に貢献してまいります。



平成25年度助成先 復興みなさん会

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円)

	25年9月期
経常収益	21,130
経常利益	3,197
中間純利益	3,153

平成25年9月期の連結業績は、経常収益が211億30百万円、経常利益が31億97百万円、中間純利益が31億53百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

(単位:百万円)

	2行合算		
	24年9月期	25年9月期	前年同期比
経常収益	22,120	21,073	△1,047
業務粗利益	16,591	16,366	△225
経費(除く臨時処理分)	12,957	13,077	120
業務純益	3,689	3,494	△194
コア業務純益	3,330	3,378	48
経常利益	2,739	3,422	682
中間純利益	2,700	3,251	551
貸出金	1,451,204	1,477,267	26,063
預金等(譲渡性預金を含む)	2,162,018	2,307,231	145,212
有価証券	635,948	716,987	81,038

2行合算の経常収益は、前年同期比10億47百万円減少の210億73百万円となりました。

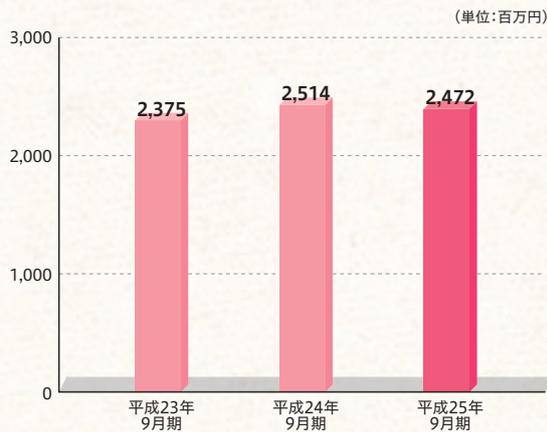
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の増加等により、前年同期比48百万円増加の33億78百万円となりました。

経常利益は前年同期比6億82百万円増加の34億22百万円、中間純利益は前年同期比5億51百万円増加の32億51百万円となりました。

業績ハイライト(単体)

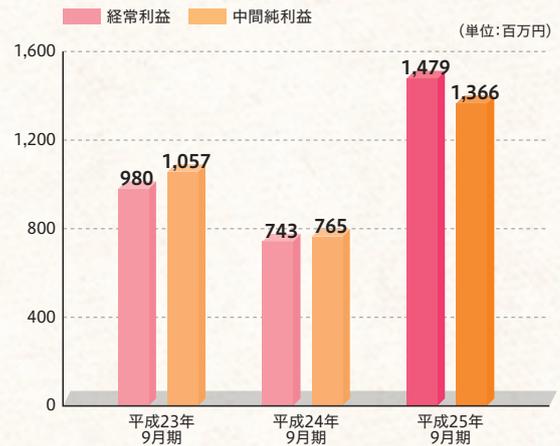
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益が増加し、物件費は減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比42百万円減少の24億72百万円(増減率△1.6%)となりました。



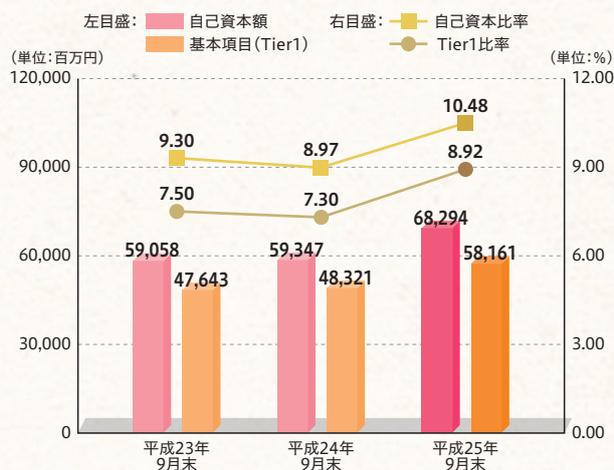
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億35百万円増加の14億79百万円、中間純利益は、前年同期比6億1百万円増加の13億66百万円となりました。



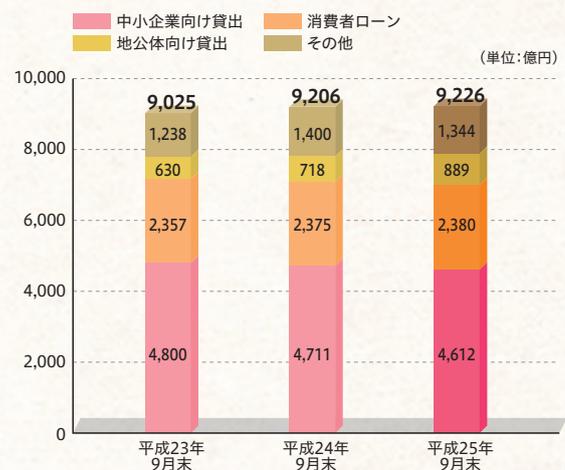
自己資本比率の状況

単体自己資本比率は、リスクアセットが減少したことや、平成24年12月に震災特例の金融機能強化法に基づく資本増強を実施したことから、平成24年9月末比1.51ポイント上昇の10.48%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出が減少したものの、地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成24年9月末比20億87百万円増加の9,226億88百万円となりました。

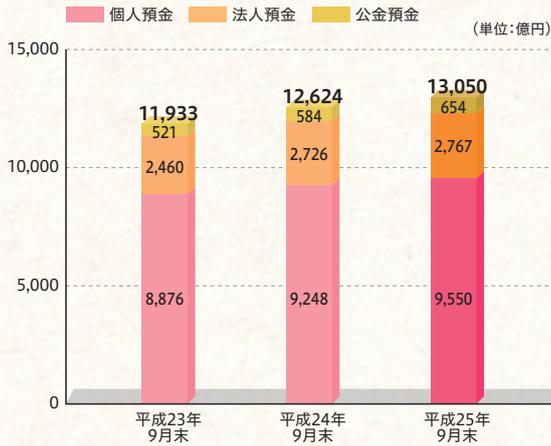


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

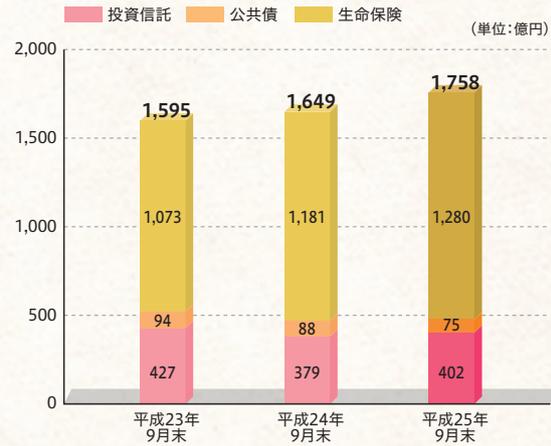
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、両行合同で実施したキャンペーン預金への預入増加などにより個人預金が増加したほか、法人預金及び公金預金も増加したことから、平成24年9月末比425億95百万円増加の1兆3,050億7百万円となりました。



預かり資産の状況

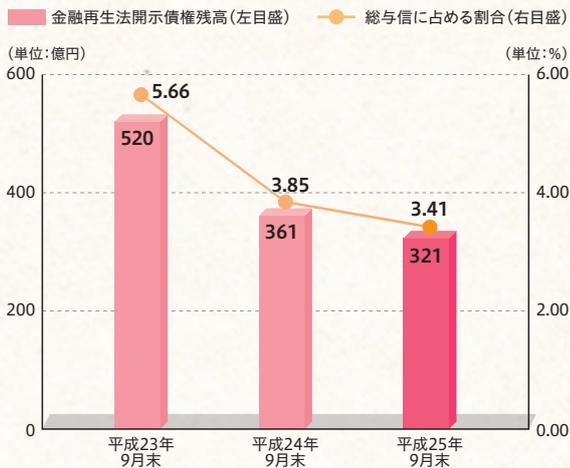
預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズの取込みなどにより生命保険残高が増加したことなどから、平成24年9月末比109億37百万円増加の1,758億87百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成24年9月末比39億54百万円減少の321億78百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成24年9月末比0.44ポイント低下の3.41%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



当行は、平成23年2月、取引先企業再生支援のためのコンサルティング機能の発揮及び強化を目指し、完全子会社となるきらやかターンアラウンド・パートナーズ株式会社を設立、平成24年5月、当行が所管する貸出債権125億59百万円を会社分割により承継いたしました。

平成25年9月末現在における同社との連結開示債権残高は、362億94百万円で、開示債権比率は3.83%となります。

なお、同社は、平成24年3月、日本政策投資銀行と資本及び業務提携に関する協定書を締結し、企業再生支援機能を強化するとともに人材の育成を図ることによって地域経済の活性化を目指しております。

■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

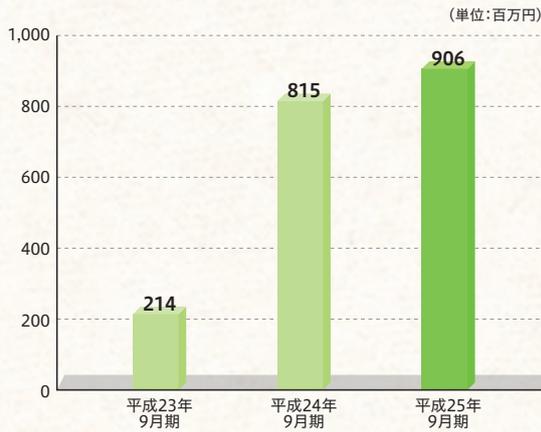
■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

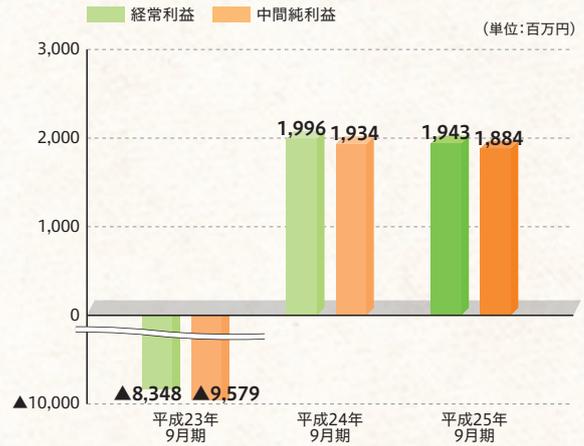
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加したものの、資金利益が増加したことなどから、前年同期比90百万円増加の9億6百万円(増減率11.0%)となりました。



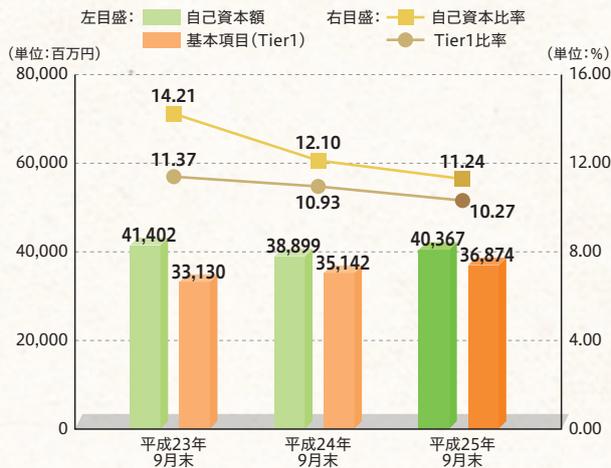
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比52百万円減少の19億43百万円、中間純利益は、前年同期比49百万円減少の18億84百万円となりました。



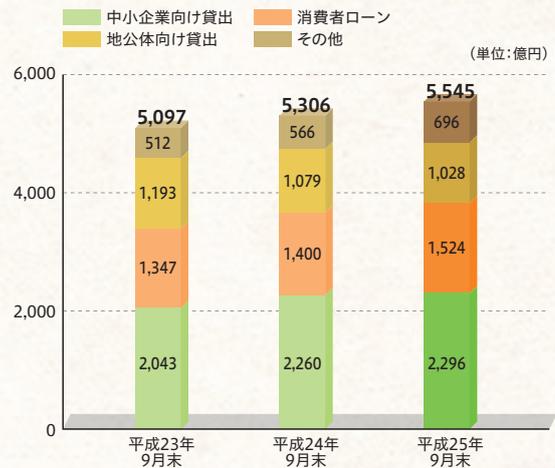
自己資本比率の状況

単体自己資本比率は、中間純利益18億84百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成24年9月末比0.86ポイント低下の11.24%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン貸出が増加したことなどから、平成24年9月末比239億75百万円増加の5,545億78百万円となりました。

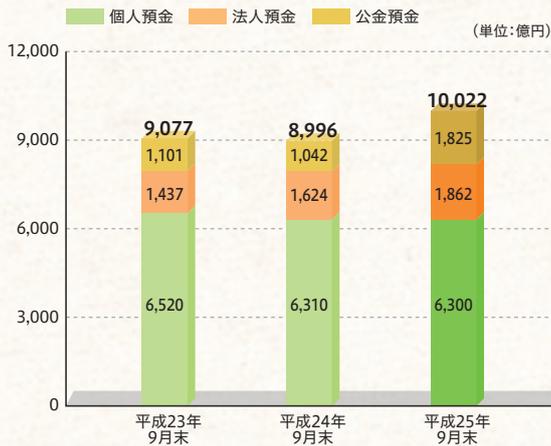


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

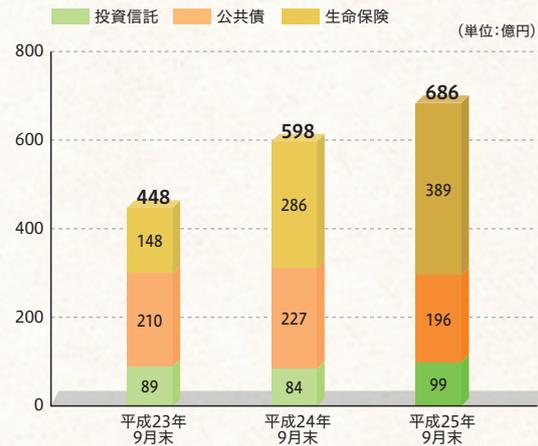
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、システム移行に伴う一部預金科目の移動により個人預金が減少したものの、法人預金や公金預金が増加したことなどから、平成24年9月末比1,026億17百万円増加の1兆22億23百万円となりました。



預かり資産の状況

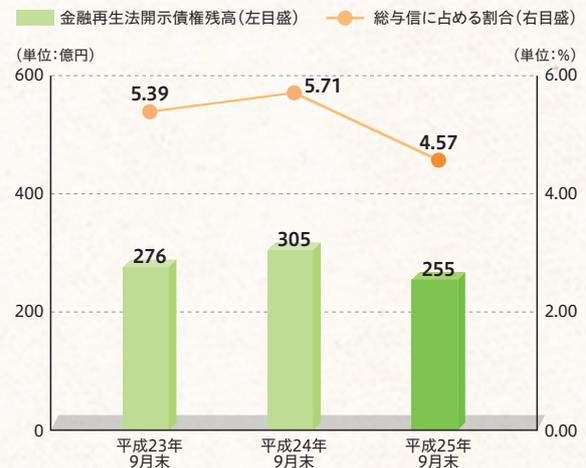
預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成24年9月末比87億78百万円増加の686億52百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成24年9月末比49億88百万円減少の255億21百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成24年9月末比1.14ポイント低下の4.57%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

山形の味じまん 郷土料理



1 鶴岡エリア
営業統括部
代理 松田 恵子

庄内の鍋料理といえば「寒ダラ汁(どんがら汁)」!
鱈の美味しさをまるごと味わえる豪快な料理

【Profile】
お客さまの気持ちになって考えることができ、すぐに笑顔になれることが強みです。ご意向に合う商品を提案し「聞いてよかった、ありがとう」と言っていただけることが、私の毎日の活力です。



鶴岡市

山形といえば「芋煮」!
日本一の芋煮会フェスティバルでは、
6mの大鍋で芋煮を作ります!

【Profile】
お客さまへの感謝の気持ちを忘れず、一人でも多くのお客さまがきらやか銀行のファンになっていただけるよう心がけています。



2 山形北エリア
営業統括部
代理 長島 利子

きらやかさんプロジェクトメンバー



3 山形南エリア
営業統括部
副推進役 川合 美智子

あとをひく美味しさ!!
ゆでたそうめんを直接鍋からひっぱり
納豆やさば缶と一緒に食べる「ひっぱりそうめん」

【Profile】
お客さまが何を求めているのか、想いを聴くことを第一に、一人ひとりのニーズにあった最適提案を心掛けています。



山形市

上市市

ビタミン・ミネラルがたっぷりの山菜「ひょう」
テレビで「雑草を食べる山形県民」として
一躍有名になりました。

【Profile】
お客さまと同じ方言で話し、親しみやすい雰囲気作りを心がけています。お客さまの話をしっかり聞き、毎日「最適提案」を行っています。



4 米沢エリア
営業統括部
主任 遠藤 なつき

両行のFA
ファイナンシャルアドバイザー
資産運用パートナー
がお勧めします!

宮城の味じまん 郷土料理



小麦粉で作る田舎のお母さんの味
心も身体も温まる
登米地域の郷土料理「はっと」

【Profile】

担当エリアのお客さまに支えられ、
営業店の預かり資産担当者と
一緒にお客さまへの提案対応
能力の向上に努めています。



登米市

1 登米・栗原エリア

推進部 窓販営業課
課長代理 岩瀨 まさ子

岩出山地域を代表する冬の味覚「凍み豆腐」
甘いタレで卵とじした凍みっばなし丼も人気!



【Profile】

営業店の預かり資産担当者と
情報を共有することで、お客
さまのニーズを的確に捉え、
一人ひとりに適した商品提案
を行っています。

2 大崎エリア

推進部 窓販営業課
課長代理 齋藤 さおり



加美町

仙台市

カキ鍋やカキめしなど調理方法1つで味が七変化!
磯の香り漂うミルクィなカキがアクセント「カキ料理」



【Profile】

被災したお客さまの気持ち
に寄り添い、喜んでいただ
ける商品提案ができるよう、
日々スキルアップに努めて
います。



3 石巻・気仙沼エリア

推進部 窓販営業課
二階堂 里花

鮭の身といくら(はらこ)が輝く赤い宝石箱!
亘理町の郷土料理「はらこ飯」



【Profile】

お客さまのライフプランに適した
商品を提案し、多くのお客さまに
喜んでいただけるよう、“好動力”
を意識して頑張っています。

4 仙台東エリア

推進部 窓販営業課
伊藤 亮子



角田市

丸森町

写真提供:宮城県観光課



ホームページのご案内

じもとホールディングス

<http://www.jimoto-hd.co.jp/>



じもとホールディングスの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報をご覧いただけます。

きらやか銀行

<http://www.kirayaka.co.jp/>



取扱商品、サービスやキャンペーンのお知らせからさまざまな情報を詳細かつスピーディーに掲載しております。また、インターネット専用支店もご利用いただけます。

仙台銀行

<http://www.sendaibank.co.jp/>



各種商品、サービス、セミナーのご案内等多彩な情報をタイムリーに掲載しております。また、営業店レターでは仙台銀行のある街のとおきのおき情報をお届けしています。

株式会社 じもとホールディングス 総合企画部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行 経営企画部

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
Tel.023-631-0001(代表)
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行 経営企画部

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
Tel.022-225-8241(代表)
<http://www.sendaibank.co.jp/>

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

※2013年9月期の詳細な財務データにつきましては、「2013年9月期ディスクロージャー誌本編」をご覧ください。